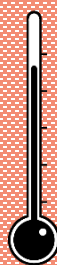
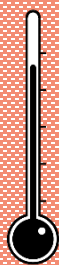


I

福岡の気候はどう変わる？—気候変動の現状と見通し

気象庁 大気海洋部 気候情報課 気候情報調整官

池田 友紀子



II

豪雨と気候変動の関係を探る「イベント・アトリビューション」

気象研究所 気候・環境研究部 第一研究室 主任研究官

今田 由紀子

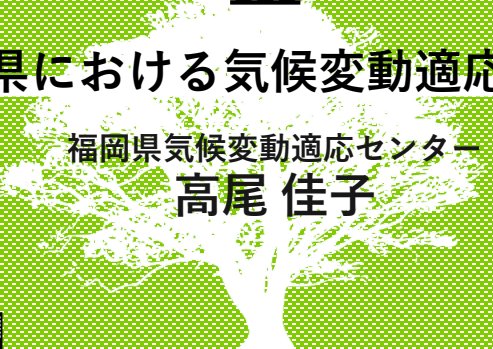


III

福岡県における気候変動適応の取組

福岡県気候変動適応センター

高尾 佳子



福岡管区气象台主催

令和
3年度

気候講演会 In 福岡

～気候変動の最新の知見と福岡県における取組～

下記QRコードからの
事前申込が必要です。



参加無料

(先着400名)

12月18日(土)

13時30分～16時00分

司会進行

日本気象協会 気象予報士
NHK福岡気象キャスター

松井 渉

後援

福岡県

福岡市

福岡県地球温暖化防止活動推進センター

日本気象学会九州支部

地球ウォッチャーズ -気象友の会-

お問い合わせ先：福岡管区气象台気象防災部地球環境・海洋課 TEL：092-725-3613

URL：https://www.data.jma.go.jp/fukuoka/kaiyo/knowledge/r3kiko_koenkai.html

令和
3年度

気候講演会

In 福岡

～気候変動の最新の知見と福岡県における取組～

講演題目

ZOOM
オンライン講座

福岡の気候はどう変わる？—気候変動の現状と見通し

気象庁 大気海洋部 気候情報課 気候情報調整官

池田 友紀子

I

2 021年8月に公表されたIPCC第6次評価報告書第1作業部会報告書では、地球温暖化が人間の影響で起きていることを、初めて「疑う余地がない」と評価しました。また、大雨や極端な高温といった現象は、地球温暖化の進行に伴いますます増加し、強くなるだろうと指摘しています。気象庁・文部科学省が昨年12月に発行した「日本の気候変動2020」の報告書など、最新の知見から、世界、日本、そして福岡の気候変動の現状と将来の予測についてご紹介します。

豪雨と気候変動の関係を探る「イベント・アトリビューション」

気象研究所 気候・環境研究部 第一研究室 主任研究官

今田 由紀子

II

九 州地方では近年、豪雨による被害が後を絶ちません。目の前で起こっている豪雨は地球温暖化のせいなのか？このような疑問に答えるために編み出されたイベント・アトリビューションと呼ばれる手法が近年注目を集め、IPCC第6次評価報告書の中でも引用されています。本講演では、ノーベル物理学賞の真鍋先生が作られた気候モデルが進化を遂げ、最新の異常気象研究に活かされている例を紹介します。

福岡県における気候変動適応の取組

福岡県気候変動適応センター

高尾 佳子

III

気 候変動適応法が施行され、福岡県内の気候変動適応に関する情報拠点として、福岡県気候変動適応センターが2019年8月に福岡県保健環境研究所内に設置されました。県内でも気候変動の影響が様々な場面で感じられるようになり、今後も気温上昇が予測されていることから、影響は拡大していくとみられています。そこで、すでに発生している影響や今後予想される影響、その対応（適応）について福岡県の取組みを紹介します。

事前申込

12月18日(土)
13時30分～16時00分

